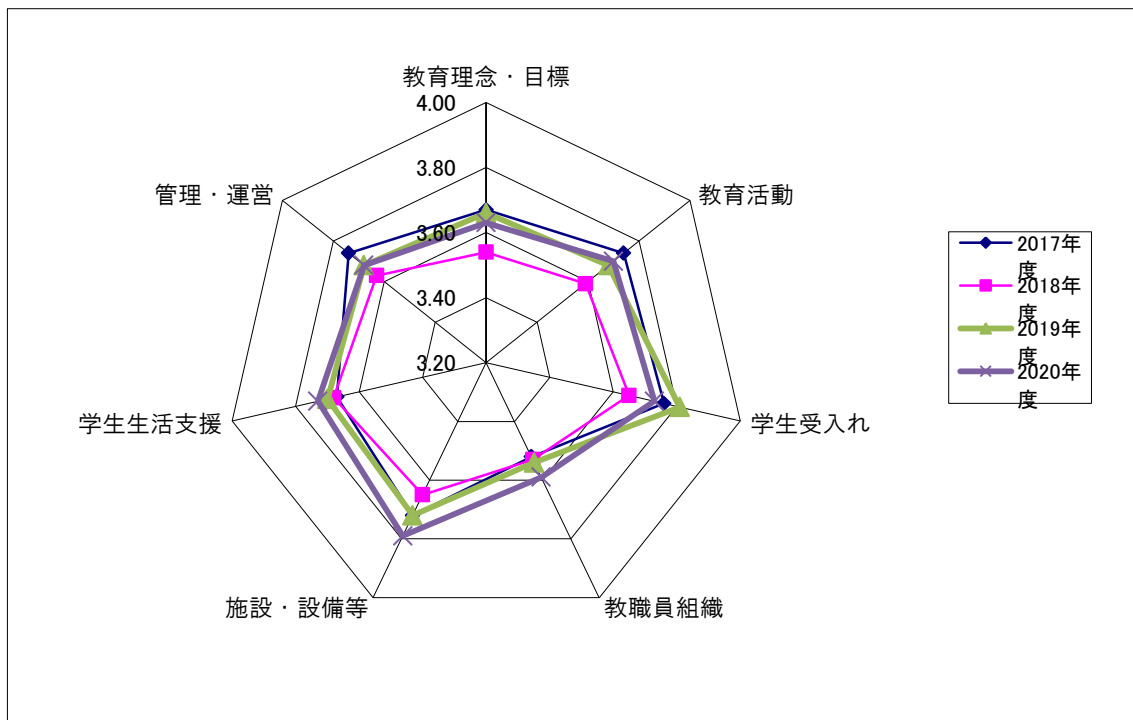


2020年度 茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 自己点検・自己評価

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
教育理念・目標	3.67	3.54	3.66	3.63
教育活動	3.74	3.59	3.68	3.70
学生受入れ	3.76	3.65	3.81	3.73
教職員組織	3.52	3.53	3.54	3.59
施設・設備等	3.72	3.65	3.72	3.79
学生生活支援	3.67	3.68	3.7	3.73
管理・運営	3.74	3.63	3.68	3.68
平均(4点満点)	3.69	3.61	3.68	3.69



総合評価

2020年度の本校自己点検・自己評価の結果は、過去3年と比較したところ7項目の平均において高い評価となった。その中でも「教職員組織」、「施設・設備等」、「学生生活支援」の3項目は最高点である。「教職員組織」は、事務課職員が産休による欠員が続くというマイナス要因にもかかわらず、他項目が押し上げたようである。「施設・設備等」は、12月に実施された神奈川県 の指導調査に伴い、備品等の整備や補充がなされたことが影響していると考えられる。また、「学生生活支援」は4年連続で評価が高まっているが、特に奨学金制度やグループへ内就職の斡旋の充実が大きいと思われる。一方で、「教育理念・目標」、「学生受け入れ」の2項目の評価が低かった。「教育理念・目標」では、従来からのAPIに加えDPとCPを新たに明文化したが、学生に浸透させるまでには至っていない状況である。また、「学生受け入れ」では志願者状況と定員充足率が特に低い評価となっている。新型コロナウイルスの影響もあり、特に年度前半の学校説明会への参加者が伸び悩み学生募集に苦勞し、最終的に昨年度を下回る結果となった。このことは、特にOT学科とST学科の入学定員割れに影響したものと考えられる。その他、小項目で低い評価となったのが「授業の点検・評価の未実施」に関することである。今年度中に授業評価の実施に向けたシステム作りを行っていく必要がある。

2021年度も、これらの自己点検・評価の結果を参考に、特に低い評価となった項目に関連する部分に注意を払い、積極的に学校運営を行う。